

福祉生活病院常任委員会資料

(平成31年3月6日)

【件名】

- 1 旧中央病院本館の医療機器廃棄作業における油の流出について
(病院局総務課) 1

病 院 局

旧中央病院本館の医療機器廃棄作業における油の流出について

平成31年3月6日
病院局総務課

平成31年2月28日に旧中央病院本館の使わなくなった医療機器の廃棄作業を行っていたところ、機器の油の流出が発生しましたので、対応状況等について報告します。

1 油流出の概要

- (1) 発生日時 平成31年2月28日(木) 午前10時25分頃
- (2) 発生場所 旧中央病院本館正面玄関前
- (3) 流出の状況等

ア 経緯

- ・病院職員が、旧中央病院本館正面玄関前より油が漏洩し水路に流出していることに気づき、鳥取市都市環境課へ通報。
- ・原因は、廃棄物処理業務を委託していた業者が、廃棄する医療機器(放射線治療装置)を解体し、解体後の部品・機器等を搬出中に、機器の一部である冷却オイルタンクを転倒させてしまい、冷却用オイルタンクから潤滑油が敷地内に漏れたことによる。
- ・流出直後、一次対応として病院職員がオイルマット及び油吸着材で除去作業を行ったが、対応しきれなかったものが側溝を伝って水路に流出した。
- ・流出した油の量は、オイルタンクの容量から約90リットルと推定。(ただし、水路への流出量は正確には分からない。)油は一般的な潤滑オイルでPCBは含まれていない。
- ・二次対応として、流出した油をバキュームにより吸引。(2/28～3/1の間に計4回実施)
- ・国土交通省鳥取河川国道事務所が水路の敷地隣接部及び水路流末の樋門にオイルマットとフェンスを設置した。
- ・その後袋川にわずかに油膜が見られたため袋川にもオイルマットとフェンスを設置。
- ・なお、千代川への流出は確認されていない。

イ 関係者への対応状況

- ・河川管理者(国、鳥取市水道局)に連絡済み。
- ・地元代表者(区長・土地改良区)へ説明済み。

2 今後の対応

- ・オイルフェンス、オイルマットの適時交換を実施中。
- ・水路内に付着しているおそれのある油の高压洗浄による洗浄を準備中。
- ・最終的に水質検査を行うなど取水時期までに問題ないことを確認する。

